

※スペース節約のため、ベクトルを横に書きます。縦で書き直した方が計算しやすいと思います。

次の線形写像  $f_i$  について、その核 (kernel) と像 (image) の基底を一組ずつ求めよ。また  $f_i$  について次元定理が成り立っていることを確認せよ。

- (1)  $f_1: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^1$ ,  $f_1(x, y) := x - 3y$   
 (2)  $f_2: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^2$ ,  $f_2(x, y) := (x + 2y, 2x + 4y)$   
 (3)  $f_3: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^3$ ,  $f_3(x, y) := (x + 2y, 2x + 4y, 3x + 5y)$   
 (4)  $f_4: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^2$ ,  $f_4(x, y, z) := (x + z, y + 3z)$   
 (5)  $f_5: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^3$ ,  $f_5(x, y, z) := (x + 2y + z, x - y + 3z, 3x + 3y + 5z)$

補足. 線形写像  $f: \mathbf{R}^n \rightarrow \mathbf{R}^m$  について、 $\text{Ker } f$  を求めるのは比較的簡単で、 $\text{Im } f$  を求めるのは多少面倒です。例えば

$$f: \mathbf{R}^3 \rightarrow \mathbf{R}^3, \quad f \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} := \begin{pmatrix} x + 2y - 2z \\ 2x - y + z \\ 3x + y - z \end{pmatrix}$$

という線形写像を例にとって考えてみます (線形であることを確認してみてください)。まず

$$\text{Ker } f = \{v \in \mathbf{R}^3 \mid f(v) = \mathbf{0}\} = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \mathbf{R}^3 \mid \begin{array}{l} x + 2y - 2z = 0 \\ 2x - y + z = 0 \\ 3x + y - z = 0 \end{array} \right\}$$

は、連立 1 次方程式の解全体のなす部分ベクトル空間です。この方程式を解くと  $x = 0, y = z$  となることを確かめてください。よって

$$\text{Ker } f = \left\{ \begin{pmatrix} 0 \\ y \\ y \end{pmatrix} \in \mathbf{R}^3 \mid y \in \mathbf{R} \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

であることがわかります。  $\dim \text{Ker } f = 1$  です。

次に  $\text{Im } f = \{w \in \mathbf{R}^3 \mid f(v) = w \text{ となる } v \in \mathbf{R}^3 \text{ がある}\}$  を考えてみます。  $\text{Im } f$  のベクトルは

$$f \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x + 2y - 2z \\ 2x - y + z \\ 3x + y - z \end{pmatrix} = x \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} + y \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} + z \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} = x \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} + (y - z) \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

の形になりますから、  $\text{Im } f$  のベクトルは右辺の 2 つのベクトル  $w_1 := \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}, w_2 := \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}$  の 1 次結合となることがわか

ります。よって  $\text{Im } f = \langle w_1, w_2 \rangle$  で、  $w_1, w_2$  は 1 次独立であることが確かめられるので、  $w_1, w_2$  は  $\text{Im } f$  の基底となり、  $\dim \text{Im } f = 2$  です。  $\text{Ker } f$  の計算は連立方程式を解くだけなのに対して、  $\text{Im } f$  の計算は式変形に多少の工夫が必要で、やりにくく感じるのではないかと思います。

しかし、  $\dim \text{Im } f$  を求めるだけなら次元定理が便利で、上の例の場合は  $\dim \mathbf{R}^3 = 3, \dim \text{Ker } f = 1$  は比較的容易にわかりますから

$$\dim \text{Im } f = \dim \mathbf{R}^3 - \dim \text{Ker } f = 3 - 1 = 2$$

であることは  $\text{Im } f$  の基底を求めなくてもわかります。あらかじめ  $\dim \text{Im } f = 2$  を知っておけば、  $\text{Im } f$  の基底は 2 個のベクトルからなるはずだとわかるわけですから、多少は計算の見通しが良くなるかもしれません。